

第14回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和元年10月29日（火）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和元年10月29日（火）午前10時48分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 佐々木雄司君 5番 光成 良充君 6番 保田 守君
12番 北川 勝義君 13番 福木 京子君 15番 岡崎 達義君
16番 下山 哲司君
18番 金谷 文則議長
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 前田 正之君
副 市 長 川島 明昌君 教 育 長 内田 恵子君
総合政策部長 安田 良一君 総 務 部 長 塩見 誠君
教 育 次 長 末本 勝則君 総 務 課 長 小坂 憲広君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 予算の審査について
2) 令和元年11月行事予定について
3) 令和元年12月定例会の会期日程（案）について
4) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） 皆さんおはようございます。

ただいまから第14回議会運営委員会を開会いたします。

初めに、議長より御挨拶をお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 皆さん御苦労さまでございます。

きょうは、前の議運でお話をしてましたように、12月の定例会で予算委員会をスタートさせたいというふうに思っております。そのことについての流れにつきましては、事務局のほうから報告をさせますし、その後、全協のほうでも報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、先ほどもちょっと議運の打ち合わせのところでもお話をしたんですが、議会と執行部の中で、大変重要なことであつたり、今までは連絡事項として報告があつたことが、議会のほうへなされてないものが特に目立つような気がします。特に前回、AMD Aでどこそこへ行くというのが、最初に総社からスタートしたときには御報告をいただいとつたんですが、その後、今回の台風で相馬市へ行かれるというのは、後になってそれぞれの委員会のとくにしかお話をいただいてない。重要なことだろうと思ひます。テレビやメディアでそういうものが出た後、議員たちにもまだ直接的には話が出てないというのは、やはり今までは話があつたのが今回ないというのは問題だと思ひますし、それから先ほど確認をしたんですが、旧赤坂の南佐古田のところでは熊が出たということが、地域の放送でどんどん流れておる中で、まだ話が正式にはなくて、けさ、私のほうは担当の課長にお話を聞きましたので、ここで申し上げときたいと思ひます。南佐古田というところで27日に熊が出たというふうなことで、特に人家の近くだったので、学校のほうでも地域の保護者のほうへ連絡をして注意喚起をしたというふうなことがなされております。これも大変重要なことでございます。前は連絡がありました、今回はないと。去年はたしか熊も出ました。そういうふうなことを含めて、ちょっと今のところ、こちらのほうからの発信が悪いのかもしれませんが、議会と執行部の意思疎通が本当にできていない。これは、それぞれ間でメディアに出るような問題が出てきたりするところから、なかなか話しづらいという面があるのかもしれませんが、特に議会と執行部とは一緒に、本当に赤磐のために、市民のために頑張っていかなきゃいけないので、意思疎通を深めていきたいと私も思ひますし、執行部のほうもぜひよろしくお願ひをしたいと、あえてここで申し上げときたいと思ひます。長々と話しましたが、大変重要なことですので、ぜひよろしくお願ひをいたします。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま議長が申された件は、この議運でも前にもちょっと問題になつとります。議員個々に伝達するという事は難しいので、事務局のほうに報告を入れといてくださいということ、前にもなつとると思うんですが、今回の熊の件もそういう件も事務局に入ってないということで、先ほど打ち合わせでお聞きしましたので、その点は嚴重に、今までどおりやっていたくようにお願いしときます。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項の1番目、予算の審査について、先ほど議長から説明をいただきましたので、事務局のほうに説明をさせますので。

事務局。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、お手元の資料のほうをごらんいただきたいんですけども、まず予算の審査についてということで、表題書いてあります。その資料からごらんいただきたいと思います。

(1)番の、まず委員会についてでございます。

予算審査特別委員会ということですが、こちらにつきましては、昨年度の議会改革検討委員会からの意見書に基づきまして設置をするという流れになっております。そして、その意見書の中には、今回、分科会の設置ということで、そちらも明記されておりましたので、総務文教分科会、厚生分科会、産業建設分科会、3つの分科会をこの中に設けていきたいというふうに考えております。

2番目ですけれども、委員構成につきましてです。

予算審査特別委員会、これも意見書の中にございましたとおり、全員で行うということで明記されておりましたので、全議員18名で行っていただきたいと思っております。

分科会についてです。分科会については、やはり専門性等々もございますので、総務文教分科会につきましては総務文教常任委員会、厚生分科会につきましては厚生常任委員会、産業建設分科会につきましては産業建設常任委員会のそれぞれの今のメンバーでお願いできればと思っております。

そして、3番目、付託議案につきましてです。

今回は、まず一般会計の補正予算、これにつきまして、これ12月です。一般会計の予算となりますと、今度は3月の当初等々になろうかと思っておりますけれども、現在、分割付託をしているため、研修会でもあったと思っておりますけれども、違法状態という状況になっております。ここを解消をまずしていきたいというふうに考えております。特別会計につきましては、今までどおり常任委員会に付託というふうに、今回、考えております。これにつきましては、現在でも一括付託となっている関係で、違法ではないというところもございます。また、先ほども少し触れましたけれども、専門性というところもありますので、各常任委員会のほうで練っていただければというふうには考えております。

そして、一番難しいというか、ぴんとこない部分があるのが、この(4)番の審査方法についてです。

資料1ということで、審査の流れということで、もう1枚の資料を見ていただければと思います。日付を書いておりますが、この辺は案ですから、まずは見ていただければいいと思いますけれども、まず本会議、これはいつものように、初日に議案の説明、予算案の詳細説明ということで、現在各部長がしておりますが、それをしていただきます。そして、その後に予算審査特別委員会の設置ということで、新たな特別委員会を設置していただきます。この予算の特別委員会につきましては、その初日に全体会ということで、暫時休憩中に設置を行っていただければと思っております。①の委員長、副委員長の互選でございますが、できましたら常任の委員長、副委員長以外の方で互選をお願いできればと考えております。申し合わせ等々が必要な部分かとは思いますが、また、例えば通年でやるとなると、4回、特別委員会を開くという形になりますので、そのあたりの互選の方法等も申し合わせ等が必要になってくるのかなというふうにも考えています。そこで、委員の選任、委員の選任は先ほど言いましたように全員ということになります。分科会の設置ということで、先ほど説明いたしましたとおり、各常任委員会で分科会をとということにしたいと考えてます。そして、④のところでございますが、分科会の委員長、副委員長の選任ということでございます。ここも申し合わせ等が必要かとは思いますが、ここはできれば常任の委員長、副委員長さんに分科会の委員長、副委員長さんをお願いできればというふうにも考えております。そして、下へ行きますと、本会議ということで、いつも質疑という形でしていただいとしたいと思います。議案の質疑ということで、今までの申し合わせと同じように、所属する分科会へ分断されます事項については質疑はしないというような申し合わせをお願いできればとは思っております。そして、いつものとおり、議案を委員会の付託ということになるかと思えます。委員会に付託されますと、当然、予算の審査特別委員会、下に参りまして、こちらのほうに付託されるというふうになります。そして、それぞれの総務文教、厚生、産業建設の常任委員会の終了の後に分科会を開催していただきたいと思えます。そこで分担案件の審査、そして質疑等々をしていただければと思えます。

先ほどちょっと言いました、特別会計分につきましては、委員会内での審査、そして質疑、採決が必要になります。後の分科会につきましては、質疑はございますが採決はしないということになります。今まででは常任委員会で採決しておりましたけれども、ここは分科会でございますので、採決はなしということになります。これにつきましては、分科会へ責任を持たせる等々という意味もございます。

それから、その後、新たに設置されました予算審査特別委員会、全体会を開いていただきたいと思えます。この中で、各分科会の委員長報告、これにつきまして、今のところは主なものについての報告というふうにも考えておりますけれども、それにつきまして質疑、ここの質疑は3回の枠ではなく何回もできるというところがございます。ここの分科会の報告につきまして

も、今まで本会議場で行っておりました報告と同じような形をとろうかなというふうには考えております。

そして、その後、採決ということになります。

この採決をもちまして、今度は最終日、本会議にかけていただきます。予算審査特別委員会の委員長報告ということで、結果のみ、特に議論になった部分については報告というふうには書いておりますけれども、決算審査で行ったようなイメージを考えておりますけれども、決算審査での報告につきましては、皆さんの御意見等々ございましたので、もう少しボリュームを持たせたものが必要なのかなというふうには感じております。

その後に討論、採決というような流れとなっております。

私のほうからの説明は以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま局長から説明がございましたのは、改革検討委員会でやりました、さきの全協の中にも説明がありました。それを形にしておるものでございまして、特別変わったものではございません。

これについて質疑はございませんか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 2点、お尋ねします。

11月26日の予算審査特別委員会が設置される時のお話なんです、これはもう1年の期限なんですか、それとも2年の任期の期限なんですか、それとも定例議会ごとの設置なんですかというところが1点と、あと12月13日の予算審査特別委員会、全体会ですけれども、これ、どこで行うんですか。この2点を教えてください。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） 御質問にお答えいたします。

まず、予算審査特別委員会の委員長、副委員長の件だと思いますけれども……。

失礼しました。設置につきましては、各議会ごとになります。毎回になります。

それから、12月13日予定の予算審査特別委員会、それから12月26日の全体会も同じだと思いますけれども、決算審査をやったような形になろうかと思っておりますので、協議会室を今のところ考えております。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） この間の決算のときも採決伴ってるんです。あ、伴ってなかったでしたっけ。伴いましたよね、採決。もそうなんです、開かれた議会ということで、うちの赤

磐市議会、改革を進めさせていただいてますけども、そのときに、本会議なら、それがインターネット中継などで皆さんに見ていただく、遠隔傍聴していただくという、可能なんですけど、できないですね。ここら辺、どのように考えてるんですか。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 皆さん御承知かと思えますけど、当初、委員会のインターネット中継をするのを何々をするかという議論をした中で、今年度やってることについては、常任委員会をインターネット中継をするということで、皆さん合意をしとられて、あとの特別委員会については、その後、どのようにするかみんなで議論しようということになっておりますので、今回のこの特別委員会については、それまでは、今事務局が申し上げたように、放送設備がございませんが、そこでやるということで御了解をいただきたいと思えます。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） それはまあそのとおり。ないですから、もう了解せざるを得ずに、あそこしかないんですから、もうせざるを得ないと思う。今後どのように、早急に整備していくつもりなのか、それとかその必要性を感じてらっしゃるのかっていうところをお尋ねしたかったんです。この委員会に対して、議運としてどのように考えていくのかというところをお尋ねしたかったというか。一般的な特別委員会ではなくて、これはもう予算審議にかかわる、議会の中核的な、結論に導き出すための過程の部分ですから、非常に大切じゃないかなというふうに思うんです。だから、ここが住民の前に明らかにならない、有権者の前に明らかにならないというのは、ちょっと課題がかなりあるんだろうなと。このところをどのように委員会として重く捉えて、どのくらいのスピード感を持って解決していくのかというところが、ちょっとお聞きできれば安心できる部分はあるかなと思ったりして、お尋ねをしてるんですけど。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） どこの委員会、どの委員会が重要で重要でないというようなことはないであろうと思えます。皆重要なことですので、順次進めていきたい。当然、私自身の個人的な考えからすると、全てオープンでいいなというふうに思っておりますが、皆さんと合意をした中でいくと、常任委員会は今年度については開会中だけやると、その後、皆さんで議論しようということにもともとなつていきますので、そのように納得をしていただきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

この議会運営委員会で出た御意見で即決できないものについては、後日、議長、副議長の中で相談をさせていただいて、いろんな予算とかいろいろな状況がありますので、そういうことを踏まえてまた報告させていただくということに今までしておりますので、今後もそういう形

でやらせていただきたいと。

○副委員長（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○副委員長（福木京子君） 議会改革検討委員会というところが大体こういうインターネットのことも……。

○委員長（下山哲司君） いや、インターネットは……。

○副委員長（福木京子君） だから、その辺の関係で、全員、そりゃあそろった中でやってるんですから、ここで確認をして議論をしていったらいいんじゃないかなと思う。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 二、三点ちょっと。

最初のこれ、流れ、今事務局が言われたんで、大体一般的、常識というたらおえんけど、決算審査やこうじゃったら、委員長が受けるというたりするんもあったんじゃけど、勉強もあるから、委員長じゃねえ人が受けてもらやあええがなという話ぐらいできとんで、さっき言うたんで、予算審査のほうも委員長、副委員長以外ぐれえな方が受けてもらえりゃあ、勉強になれると思うんで、大先輩もおられる、そういうことは、年齢が上とかというのは抜きで考えていかにゃあいけんじゃねえかなというんが1点あったんで、それはそれで賛成なんじゃけど。あとの分科会なんじゃけど、結果的にはこれは採決はなしというだけでもう、要するに前の総務委員会、産業建設、同じことじゃろ、その日にするんじゃけん。

○委員長（下山哲司君） そういうことです。

○委員（北川勝義君） 例えばの話とすりゃあ。じゃから、これがどう言うてええんかな。そこのところが言いたかった。例えば総務じゃったら総務文教したときに、切って予算審査特別審査委員会するんか、それとも続けて継続で、どこもで。いくんかな、どんなんかなと思うたんが、どういう進行になるんかなとちょっと思うたんが1点あったんです。

それから、このときはええんじゃけど、13日のときです。12月13日のときには、今、佐々木さんが言うた話じゃねえけど、インターネットのことは抜きとしても、場所じゃから、あそこしかできん、あそこ言うたらおえんけど、協議会室しかできんのじゃねんかと思うんじゃけど、これ、福木さんがさっき言うたこと、僕もちょっと佐々木さんのこと聞こうと思ようたんじゃけど、全協やこうしたときには、ちょっと話がそれるが、全協やこういうたら秘密会じゃねんじゃけど、全協については、そりゃあ傍聴もうちはするようになったけど、しゃべることじゃねんで、全協のことはやっぱりちょっと考えてもらわにゃあおえんのんじゃ。考え方、一個人のこと、勝手に……つけられてというのはいけんからと思うて。しかしながら、予算についてのことじゃから、各委員会でも6日、9日、10日の見ようたら中継できるからわかるんじゃけど、佐々木さんの言うた方法じゃねえけど、何かやり方が、議長言うんじゃ、これまた庁舎ができてまで言ようたら、庁舎の改修できて二、三年先になりようたら、二、三年先になっ

て、結果的にゃあ、予算というのは大事なことじゃから、決算より、使った後、どっちも大事なんじゃけど、なってくるんで、できりゃあインターネット、福木さんも言うたように、議会改革じゃねえけど、何かで、議運で出たという、どういうのかな。どうせえ言うかわからん、僕、全然インターネット詳しくゅうねえからわからんのじゃけど、何か早急に、この12月は不可能じゃけど、6月に向けてとかやるようにちょっとしてあげたほうが、例えばええんじゃねえかなと思うたん。そりゃあ、どういうことを、まだこりゃあもう誰が答えりゃあええんかなというて、結果、うやむやじゃった、その答えを、2点、ちょっとください。

それで、13日のときはもう当然、各分科会の委員長の報告の、所属しとらん人が聞くだけでしょ。所属しとる人はもうこの6、9、10で聞けるんじゃから、聞かんということでしょ。そこの再度、確認をお願いします。

○委員長（下山哲司君） 議長、配信について、お願いします。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 先ほど北川委員からお話がありました、どのようにして、要はみんなに知っていただくかとかというような、さっき佐々木委員からも言われたことなんですけど、当初、皆さんのお話では、予算委員会という頭の中では、当初の3月の予算についてというふうなことがあったんですが、いろいろ考えた中で、最初から3月に持って行ってやると、手違いがあつては、大変重要なことなのでいけないということで、12月に予算委員会を皆さんにお願いをしていると。その予算委員会をやってみて、その中で今、問題が出てくれば、当然直していかなきゃいけないし、それからみんなで中継しようというふうな話になれば、この反省の中で出てくれば、今佐々木さん言われたように、じゃあ放送をいかにしてやるかという議論をしていただいた中で、当然、大変重要なことですから、できるだけ早く市民の方の目の前でこういう審議を見ていただきたいというふうに思っておりますので、今回はまず皆さんでこういうやり方ということをやっていたら、そこで出てきた意見をまた何かに反映できるような形でしたいと思っておりますので、御了解をしていただきたいというふうに思います。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（北川勝義君） ちょっとええか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕、さっき6月でもええと言うたのは、3月議会の当初じゃから、練習兼ねてというたら失礼な言い方じゃけど。ただ、開かれた議会という、開かれるとか開かれんとかじゃなしに、もうそういうこと抜きで、予算じゃから、大事なから、委員会の中継でわかるから何ぼかええかなと思うたんじゃけど、あそこへどんだけ来て、どういうやり方なんか、ちょっと見当がつきょうらんのんじゃけど、何でもかんでもというて流れたんじゃ、ちょっとおかしいことになるんじゃねえかなと思うたりするんで、ちょっと議長のやり方、まあ任

せりゃあええと思うた。一遍練習、練習という言葉は悪いけど、早う前倒しでええと思うて、そのことについては理解できたんですけど。ただ、ここでこんなこと言うたら、市民のほうで、何か言うたら、皆市民がどうのこうの言うて、ええ格好という話じゃけど、ここであそこへ改造して金をかけてしても、増改築しとんで、こっちに行けるんじゃないたらええんじゃないけど、なんぼかちよびっと、できりゃあどうするんかな。これはもう最後のことじゃけど、議長言われた3月でもええんじゃないけど、そのときに生じゃのうても出せるんじゃないたら、方法がありゃあ、そりゃあ考えていく、反省の中で考えていきゃあええんじゃないねえかなと思うて、お任せするというんじゃないねえけど、ただ皆言ようる、議場でやったら、僕はちよっともう議場、ちよっと違う話になった。議長じゃったらできるのになと思うて、単純な設備ができとるから、議場でこれをやりゃあ、場所はどこですかと言うたん、協議会室かどっか言うたな。議場じゃたらもう、議場使うということはできんのんじゃないら。ちよっと思うたんで。それよろしいです。

○委員長（下山哲司君） 御意見がありますので……。

調査をさせて、議長と。

○委員（北川勝義君） 議場はいけんのじゃろ。

○委員長（下山哲司君） そりゃあ、だめです。

○委員（北川勝義君） 本会議じゃねえけえ。

○委員長（下山哲司君） 御意見は、委員会としては、議長と相談させてもろうて、予算がどのくらいかかるか。

また報告させていただきます。そういうことで。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 何が言いたかったというたら、予算じゃけん大事なけん、決算のことはええんじゃないけど、ええんじゃないけどと言うたらおえんけど、ええんじゃないけんけどちよっと別として、予算、一番大事なことじゃから、これ、6日、9日、10日で見れるんじゃないけど、もし場所が、議場を使えりゃあ、すぐもう、今佐々木さんが言うた、すぐ放送できるが。後からでもええけど、できるからええなと思うたんで、使うちゃあおえんことはねんかもしれんけど、使わんほうがええんじゃないたら。一遍、練習じゃけん。ここは12月はと思うたんで。よろしいです。

○委員長（下山哲司君） 議長と調査のほうさせていただきます。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、2点ほどあったと思います。まず、6、9、10で予定しております予算の分科会、こちらにつきましては、一旦常任委員会の切りをしていただ

いて、切りかえてもう分科会に入ることになります。そういうことで考えております。分科会と、あくまで常任委員会は別のものになりますので、一旦切りをしていただきますというのが1点。

それから、13日に予定しております全体会、予算審査特別委員会、これにつきましては、今までどおりの考え方で、自分の所属しているところ以外のものの質疑ということでお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕はええんじゃけど、議員さん聞いた中で、総務やこうでも、よそもあるかもしれんけど、重複しとるところがあるんじゃ。くらし安全課とかあったり、両方かんどったり、人権の問題、かんどったりするのがあるんで、そのとき言うたら、所管になるようなならんような変なことになるんじゃ。どう言うてええんかな。例えば人権のことじゃったら、協働推進室、教育委員会と兼ねるようになったりする。教育委員会のほう聞かんでもええというてもこっち聞きようるから、おかしいことになるんじゃ。そりゃあもうやっぱりいけんのんじゃな、原則的には。どんなんかな、それだけちょっと今。

○委員長（下山哲司君） 関連があった場合、議長の采配になりますので。

○委員（北川勝義君） 違うが。僕は13日の話しょんじゃけん。

○委員長（下山哲司君） ああ、13日の話。

○委員（北川勝義君） 13日じゃけん、議長じゃのうて委員長になった者じゃ。じゃけん、ええんじゃったらええけど、そこんところおえんならおえんというので何かしとかなんだら、またややこしゅうなって、聞きよんのがぐらつとなったらちよつと困るんかなと。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） そこなんですけれども、今までもちよつと線引、難しい部分があるかと思えますけれども、予算の構成上、事業別に今つくってます。なので、事業で恐らく付託してあるはずなんで、そこは、事務局としたら、皆さんでお考えいただければいい部分かと思われますけれども、事業で違うのであれば聞いていただいても構わないと私は思ってます。

以上です。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） わかりました。そのことはもうよろしいです。

ただもう1個、さっき元宗局長が簡単に言うて今までどおりですと言うたんじゃけど、13日のときは、所属しとるとこの委員会は質問できんという、所属のところという考えでええんで

すな。わかりました。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（北川勝義君） はい、よろしいです。

○委員長（下山哲司君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項2番目、令和元年11月行事予定について。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議会事務局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、まず令和元年11月行事予定の案のほうを見ていただければと思います。

まず、11月1日、2日、金曜日、土曜日ですけれども、議会報告会を予定いたしております。

それから、11月2日火曜日ですが、和気・赤磐し尿処理施設組合、和気老人ホーム組合、和気北部衛生施設組合の議会がそれぞれ予定されております。

それから、11月7日木曜日です。こちらが産業建設常任委員会、そして11日月曜日、総務文教委員会、12日、議会改革検討委員会、その終了後に議員政治倫理条例策定特別委員会小委員会を予定いたしております。

そして、11月15日金曜日ですけれども、議会報告会班長会議を予定いたしております。

そして、18日月曜日、こちらは厚生常任委員会で、そして19日が議会運営委員会、議会全員協議会、そして終了後にタブレット導入検討専門委員会（後刻訂正）を予定しております。

そして、11月20日でございますが、天皇陛下御即位奉祝事業ということで、記帳が入っております。

後の11月26日以降の予定につきましては、12月定例会の案で説明をいたします。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

総合政策部長。

○総合政策部長（安田良一君） それでは、11月の市の主な行事予定をお知らせします。

8日金曜日、県南東部地域医療構想調整会議がきらめきプラザで行われます。市長、出席いたします。

12日火曜日、株式会社セブーン・イレブンジャパン地域活性化包括連携協定締結式が中央図書館で行われます。市長、前田副市長、出席します。

同日、赤磐市地域公共交通会議が図書館で行われます。前田副市長、出席します。

13日水曜日から14日にかけて、全国市長会が東京都で行われます。前田副市長、主席しま

す。

17日日曜日、是里ワインフェストがドイツの森で行われます。市長、両副市長が出席します。

同日、赤磐市在宅医療介護推進フェアが中央公民館で行われます。市長、前田副市長が出席します。

21日木曜日、教育委員会定例会が中央公民館で行われます。教育長が出席します。

同日、岡山県と市長会との意見交換会が岡山市内で行われます。市長、出席いたします。

30日木曜日、赤磐市民生委員、児童委員感謝状及び委嘱状伝達式が中央公民館で行われます。市長が出席いたします。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいまの説明について、委員さんから何か質疑はございませんか。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 執行部、お尋ねするんですが、12日の株式会社セブーンイレブンジャパン地域活性化包括連携協定締結式なんですが、これは地域活性化包括連携協定というのはどんなものになるんですか。

○総合政策部長（安田良一君） はい。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（安田良一君） 佐々木委員の御質問にお答えいたします。

これは、セブーンイレブンジャパンと地域包括ということで、子供の見守りとか、あと高齢者のそういう見守りとか、災害時のそういう協定とかを包括でセブーンイレブンジャパン社様と結んでやる事業でございます。

○委員（佐々木雄司君） ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（佐々木雄司君） はい、いいです。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長、1つ。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） 1つ訂正をさせていただきます。議会の行事予定案のところの11月19日火曜日のところです。タブレット導入検討専門委員会と書いてありますが、「専門部会」でございます。済みません。訂正をお願いいたしたいと思います。よろしく申し上げます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） どっちもなんじゃけど、今回、こういうことを言うたらおえんのじゃけど、あかいわキラリ★安全とか、それから人権を考えるつどいとか、ワインフェストやこうほとんど来られとるけど、そういうあれを見て、どう言うてええんかな、関係所管の議員さんも出席が少なかったりするんで、僕は大概出よんじゃけど、出れんときもあるんじゃけど。できたら、議長とか事務局じゃねんじゃけど、これ配って、この予定表が行くんじゃけど、きょうの議運の委員長からでもええんじゃけど、全協やりますが。全協のところで所管の、例えば消防のとかいろいろありますが。出れんのは仕方ねんじゃけど、出てもらうように言うてもろうたら。ちょっと少ねえなと思うたりしたんで。ちょっとそれがお願いできりゃあなと思う。強制してという話じゃねんじゃけど、表彰するときやこうは議員ようけえ出とってあげたほうがええんじゃねえかなと思うて。

それで、もう1個、全体の違う中で、きのう総務委員会したときに、消防が全国で表彰されておりましたな、表彰を。ああいうなん、僕も知らなんだん、そういうこと知らなんだというのはあれで、総務委員会するときには資料こしらえとったんじゃけど、広報には載っとんかな、載ってねえんかな、まだ広報は。

まだ載ってねえわな。

○委員長（下山哲司君） 時期的には載らんわな。

○委員（北川勝義君） できたら、そういうええことをやったのは、前もって開いてやっていただきゃええんかなと思って。さっき議長が挨拶に、冒頭のとくに、熊が出て、意思疎通が図れてねえというのもあったんで、そういうことは早う言うてもろうたら、やっぱりえかったなと思うた。これは、僕は知っとったというのは、消防団長が地元じゃけん聞いて、東京行ってきたんじゃというから、そりゃあよかったなという話をして、総理大臣と会うたんじゃと言うけん、という話までしたんですけど、こういうことが、この一部しか、消防の関係だけしか知らんようになるんで、できたらそういうなんを大きくしてほしいなと、ちょっと今思いましたんで、それについてお答えできりゃあ聞きてえと思うたんよ。どういう、また時期的には悪いけど広報でも出すんかな。出すんじゃろうけど、ちょっと聞きたかったんです。どんなですか。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（安田良一君） また広報紙のほうでお知らせはさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○委員長（下山哲司君） 今言われたのは、広報紙が出るまでに、事前に早目に、先ほども申し上げましたが、そういうことがあった場合は、議会事務局のほうへ連絡いただければ、議会

事務局が皆さんにお知らせする内容、しない内容は精査してしますので、できるだけ議会事務局のほうにいいこと悪いこと、両方ですけど、報告のほう上げていただくようにやってください、今後。そうすれば、事務局のほうで判断して、皆さんに伝達するかしないかを判断しますので、そういうことでお願いしたいと思います。

○総合政策部長（安田良一君） かしこまりました。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 冒頭の議長、それから委員長のほうからいろいろ御指摘をいただいたように思います。議会と執行部、両輪ということで、本当に言われているとおりでと思います。私たちもいま一度、内部のほうのそういうルート、流れのところも再確認いたしまして、また局長を通じまして、ちゃんと御連絡ができるように努めてまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○委員長（下山哲司君） よろしくお願ひいたします。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項3番目、令和元年12月定例会の会期日程（案）について。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議会事務局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、資料の議会スケジュール表（案）をごらんいただきたいと思います。

11月から12月のスケジュールの案について御説明をいたします。

12月定例会を11月26日火曜日に開会する日程で組んでおります。その関係から、1週間前の11月19日13時30分から議会運営委員会、引き続き14時30分から議会全員協議会の開催となります。この関係で、一般質問通告の受け付けは11月8日から始まり、14日を締め切りとしています。

12月定例会は11月26日が本会議、議案の上程でございます。この日から28日までが質疑通告の受け付けでございます。

27日は予備日です。

28日、29日、12月2日を一般質問とし、3日を予備日といたします。

4日は本会議で、質疑、委員会付託となります。

5日は予備日です。

6日は総務文教常任委員会、9日は厚生常任委員会、10日は産業建設常任委員会となります。

11日を予備日といたします。

先ほど予算審査の件で少し触れておりますけれども、13日は予算審査特別委員会といたします。この日から17日までが討論、通告の受け付け期間でございます。

また、16日を予備日といたしたいと思っております。

最終日を12月18日とする案といたしております。

なお、12月26日につきましては議会運営委員会を予定いたしております。

9月の議会運営委員会で説明した日程より1日ふえているということは、先ほど説明させていただいたとおりでございます。

以上で説明を終わります。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

説明が終わりました。

ただいまの説明について、委員さんから質疑はございませんか。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項4番目、その他について。

委員または執行部から何かありましたら、発言をお願いいたします。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、私のほうから1点、お知らせといたしますか、御報告を申し上げたいと思います。

令和2年度議会関係予算の詳細説明につきましては、この後の全員協議会のほうで説明させていただきたいと思っておりますけれども、今のところ、人件費を除いて対前年比マイナス7%シーリングということで、執行部のほうから指定されておりますので、そちらのほうで今のところ計上をする予定にいたしております。

以上でございます。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） ちょっと今の話で質問をさせてください。

ここでいろいろ議論をしてる議会の中で、例えば来年度からに向けては、議会中継の問題もあったり、タブレットの問題もあったり、そういったものについてはどのような形で反映するかということ、それが7%のシーリングということで執行部から連絡が来てるのかどうか。執行部はどういうふうにタブレットについての予算を今回上げてこようとしているのか、その辺のところをちょっとお聞かせをください。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） 先ほど議長からのお話でございますけれども、今のところタブレットを検討いたしております。それで、こういったタブレットであるとか、その他、例えば先ほどの議会中継等々もございます。そういったところにつきましては、財政課のほうにはこういった話があるということで説明はいたしております。ただ、まだ決定事項ではございませんので、別枠といいますか、その中で決定し次第、話をしていくというふうには、今のところ持っていております。したがって、この7%マイナスシーリングの中では、今のところ、それは反映されてないということでございます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 執行部のほうで今、我々がタブレットについて検討してるというのは承知のとおりだと思いますけど、来年度に向けて、それに対してはどのような考え方をしているのか。予算の金額とか内容についてはお伺いできんかもしれませんが、考え方について、どういう方向であるかということは、今お聞きしとかないと、10月で予算をやっている、新年度の予算に向けてつくっていくのには間に合わないであろうというふうに思いますので、そこを執行部のほうにお聞きをしたいと思うんですが、よろしく願いをいたします。

○委員長（下山哲司君） 一言よろしいですか。

○議長（金谷文則君） はい。

○委員長（下山哲司君） 議運の委員長としての考え方としましては、7%というのは議会事務局の骨格的の部分の予算で7%、事業については別枠だと私は理解しております。それから、今までの流れからして、職員さんも減員でやっとなと思うんです。それも予算の減額には協力をしてきとるはずなんで、一律的に7%カットというのは、議会運営上、受け入れれないと私は思っておりますので、その辺も踏まえて答弁をお願いしたいと思います。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） お気持ち、物すごくわかりますけども、議会の編成については、ちゃんと議会事務局のほうで時期までに取りまとめて、それを財務課のほうに評価をしていただくようになってるわけですから、それがまだ今現在、議会事務局のほうで取りまとめができていない状態で、執行部のほうに、いやこれはどうなんだあなんだって言われても、いや、じゃあ出してくださいよっていう話だと思うんです、期限までに。それから話しましょうという話なんだと思うんですよ。そこら辺、だから今、早計じゃないかなと思うんですけど、この話は。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 済いません。なるほど、皆さんおっしゃるとおりで、ちょっと私のほ

うが先走っての話だったと思いますので、改めて、そういう危惧をしてるということで、今お話ししたことについては取り消していただいて、我々としては、議会としてはそういう取り組みを進めていこうとしているということは、執行部のほうも御理解をいただいとしたいと思いますので、そのことについてはお願いをいろいろしていかなきゃいけないと思っておりますということで、予算に関してのお願いということでお聞き届けいただきたいと思えます。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） その件については、ここへ出てくる前に、議長と執行部が協議をした上でここへ出すようにしていただきたいと。

北川委員。

○委員（北川勝義君） もう議運をしょんじゃから、むちゃばあしちゃあおえん。執行権に介入して物を言よん。今、局長もちょっとええ意味の、その他で言やあえかったことを、今つい口走ったぐれえで、全体的、赤磐市で何ぼか削減していこうというて、これは決まってきて、やっぱり不満な人もおるけど成果が出てきて、徐々に積み立てもできてきたんで、ここでもう今度は絶対に部長クラスの話で7%とか何ぼのシーリングをやろうという話が今、事務局と職員との話になつとんで、それがあんで、元宗局長もええ意味で皆知らせとこうと、これもそういう話になったら、局長もじゃし、それから今、下山委員長が言われた話じゃねえけど、議長と市長と、そういう両輪というたらおかしいけど、話をやっぱりして、こうじゃと。それから、何が要るとかという話じゃなしにしてもらわんと、協力せんというんじゃねんで。それを議運や議会でこの予算のことをどうのこうのというて言うたら、もう口挟んだらいけんと思う。そりゃあ、要るもんは、事業費はええんじゃけど。それから、前もって市長のほうも、そういうことがありゃあ、議長とお話をしていただきたいというのは、さっき下山さんが言うた話で。それから、局長はちょっと走り過ぎたんかなと、ちょっと今僕は思うたんじゃけど、これはまたこれで予算に、佐々木さんがさっき言うた要る物は出しゃあええとて、予算のことを今度はずっといらようたら、物すご介入したことに我々なるから、そのところは気をつけたほうがええんじゃねえかなとちょっと思いました。要らんこと。議長の言うたことでおおむねわかっとなんじゃけど、執行部のほうからちょっと考えがあつたら聞かせてもろうときゃあええし、局長はちょっと削除したほうがええんかなと思うたんじゃけど。

○委員長（下山哲司君） 局長をかばうんじゃないですけど、そういう話が来るとという程度で説明をしたつもりであるというふうに私は認識しておりますので、そういうことで御理解ください。ですから、きょう、執行部に答弁を求めるといふ話にはここではなりませんので、そういうふうに御理解をいただきたいなど。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

執行部のほう、ございませんか。

市長、一言、熊か何かの話をせられにやあいけんのじゃないですか。熊。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 市長。

○市長（友實武則君） 済いません。きょうは第14回の議会運営委員会ということでございませうけども、私、他の公務のため、冒頭おくれて入ってまいりました。そのことについて、おくれたこと大変申しわけなく思っております。どうかよろしく願い申し上げます。

もう閉めはよろしいですね。

○委員長（下山哲司君） 締めはいいですけど、熊の話は、話題になつとんで、議会の中で。全協で言われますか。

○市長（友實武則君） 私、ちょっと席にいなかったもんですけども、報告は聞いております。この熊の出現について、全員協議会で御説明をさせていただこうということで、担当のほうスタンバイしておりますので、どうかよろしく願い申し上げます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

その他、もうないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） その他、もうないようでございますので、以上をもちまして第14回議会運営委員会を閉会したいと思います。お疲れさまでした。

午前10時48分 閉会